危険物　　　　　　　　　　実施計画書

（移動タンク貯蔵所等による軽油の給油・注油等）

別添３

仮貯蔵

仮取扱い

○○年○○月○○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所　広島市○区○○町○丁目○番○号

　　　　届出者　氏　名　有限会社○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役　○○　○○

 　 　　　　　　　　　　電　話　（○○○）-○○○-○○○

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貯蔵・取扱場所 | ○○市○○区○○町○○番○○号　○○工場南側空地 | 防火地域別 | 用途地域別 |
| 指定なし | 指定なし |
| 貯蔵・取扱いに使用する部分の概　　　　　要 | 屋　内 | 敷地面積 | ㎡ | 屋　　外 | 敷地面積 | 約２，０００㎡（○m×○m） |
| 建築面積 | ㎡ | 敷地の概要 | 別紙のとおり |
| 建物の概要 |  |
| 危険物の種別品名及び数量 | 第４類第２石油類（軽油）１日最大２０，０００リットル指定数量の倍数２０倍 |
| 目　　　　的 | 震災等により被災地において災害復興のための重機への燃料補給及びドラム缶への注油を行うために必要な事項を予め計画するものである。 |
| 貯蔵・取扱いの方　　　　　法 | ⑴　移動タンク貯蔵所から直接重機への給油及びドラム缶への詰め替えを行う（詰め替えたドラム缶は別途確保する貯蔵場所に速やかに移動させる）。　⑵　保有空地を６ｍ確保する。　⑶　高温になることを避けるため、必要に応じて通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設置する。　⑷　標識・掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。　　　「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「品名・数量・倍数」、「火気厳禁」⑸　保有空地の周囲にバリケードを立て、空地を確保する。　⑹　敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。　⑺　作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。⑻　移動タンク貯蔵所への注油は別場所で行う。 |
| 安　全　対　策 | ⑴　ドラム本体のアースを確保する。　⑵　吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。　⑶　危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。 |
| 消防設備の状況 | 第五種消火設備　１０型粉末消火器　３本を設置する。 |
| 管理責任者（危険物取扱者） | 住所・氏名 | ○○市○○区○○町○○番○○号　　▽▽　▽▽ |
| 免状種類等 | 乙種４類・交付年月日　H○○.○○.○○・交付番号　○○○○○○ |

備考　案内図、仮貯蔵・仮取扱い実施予定場所の構造図、敷地の見取り図、危険物取扱者の免状の写しを添付してください。

